

日本文化遺産・美川の食文化等を活用した観光誘客による地域商業の活性化事業

事業実施主体：美川商工会
事業実施箇所：石川県白山市
商店街店舗数：380店舗

- 北前船の寄港地として賑わいをみせた美川地域は、大正期より織物等の手工業が盛んであった。しかし近年、繊維産業不振や大型店進出などにより地域商業の衰退が進んでいる。
- 北陸新幹線金沢開業効果により石川県への観光客が増加しており、2024年春の敦賀延伸により周辺地域は一層の賑わいをみせると予想。この機を最大限に活用できるよう観光需要を熟知している旅行雑誌制作スタッフなど外部のサポートを受け、新たな視点で地域商品の開発を行い、来訪者の増加を促したい。

背景・課題

- ✓ 住民の減少・高齢化等により地域商業衰退傾向の中、今まで取り組んでいなかった“観光需要”にフォーカスを当てて、取り込みたいと考える。
- ✓ 商工会内に観光委員を設置。昨年日本文化遺産に認定された“白山市美川地域”の食文化を中心に観光素材をブラッシュアップ。積極的な情報発信を行っていく。

取組内容

- ✓ 白川市美川地域特産で石川県でしか製造できない「美川ふぐの子」と「ふぐの身」を合わせ、新名物“ふぐのおやこ料理”として6飲食店参画のもと企画。
- ✓ “ふぐのおやこ料理”をメインコンテンツとした観光パンフレットとホームページ作成、情報配信。

見込まれる効果等

- ✓ 「ふぐの街」PRによる観光誘客と売り上げ増加。
- ✓ 地域が一体となって企画、活動することによる絆や連携の強化。
- ✓ 広報ツールを整えることで、手軽に分かりやすく認知度UP。



←ふぐ料理



漁港のようす→